

みなさんの町内にもツバメがわたつてきているのではないのでしょうか。今日はツバメのはなしです。冬はあの子たちはみんな東南アジアあたりのあたかいところでごしていて、春になると日本にわたつてきて子そだてをし、また秋になると南の国へ・・・というサイクルです。ごしているのです。

京都にはだいたい四月一日ごろにやってきました。まずすることはすを作るためのぼしよをさがすこと。人間に近いところで、しかもヘビがのぼつてこないようなところ、そして雨や風があたらないところをさがします。

そんなところが見つければ、どろにだえきと草をまぜてすづくりをします。田んぼの近くではすぐどろが見つかりますが、と会のまん中だとくろうするようです。

すができたら、子そだて。だいたい四こから六この卵をうんで、しっかりとためます。二しゅうかんほどでひながかえり、ひなは二十日ほどです立ちをします。この間ツバメのお父さんとお母さんはたいへんです。虫をとらえてどんどんすにはこばないといけません。す立ったあとも二しゅうかんほどりょうしんはずつと見まもります。まだまだひなは自分ではえさをとれないからです。ということ、ひなが卵からかえってから約一か月ちよつとくらは子そだてがつづくわけです。

でも、もう一度子そだてをするパターンも多いです。そのときはちがうすにひっこしすることも多いのです。

ヘビ以外にもネコやカラスなどの天てきがいて、かなりひなは命をおとします。東南アジアに向かうときも、何ももたずにあんなに小さいのに自分の力でとんでいくのです。けなげだと思いませんか？

おんどくサイン↓

① なんのはなしでしょう？

② だいたいいつごろ京都にやってきましたか？

③ ツバメの天てきを三つあげましょう。

④ なぜ、と会ではすづくりにくろうするのですか？

⑤ どろにまぜるものはなにとなにですか？

⑥ ツバメのたまごはなんくらいですか？

⑦ ツバメは冬どこですごすのですか？

⑧ なぜす立った後もおやは見まもるのですか？

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） ツバメはおべんとうをもつて東南アジアに行く。

（ ） ツバメは自分の力でながいたびをする。

（ ） ツバメはヘビの卵が大すきだ。

⑩ おもったことを五行でまとめましょう。

できばえは？



みなさんの町内にもツバメがわたつてきているのではないでしょう。今日はツバメの話です。冬はあの子たちはみんな東南アジアあたりのあたたかいところですよ。そして、春になると日本にわたつてきて子そだてをし、また秋になると南の国へ・・・というサイクルです。そして、わたしの話です。

京都にはだいたい四月一日前後にやってきました。まずすることはすを作るための場所をさがすこと。人間に近い場所、しかもへびがのぼつて来ないような場所、そして雨や風が直接あたらないところをさがします。

そんな場所が見つければ、泥にだえきと草をまぜてすくります。田んぼの近くではすぐ泥が見つかりますが、都会の真ん中だと彼らも苦労するようです。

すが完成すれば、子育て。だいたい四から六この卵をうんで、すっかりあたためます。二週間ほどでひながかえり、ひなは二十日ほどです立ちをします。この間ツバメのお父さんとお母さんはたいへんです。虫をとらえてどんどんすにはこばないといけません。す立った後も二週間ほど両親はずっと見まもります。まだまだひなは自分ではえさをとれないからです。ということで、ひなが卵からかえってから約一か月ちよつとくらいは子育てが続くわけですよ。でも、もう一度子育てをするパターンも多いです。そのときはちがうで産卵することも多いのです。

へび以外にもネコやカラスなどの天てきがいて、かなりのひなは命をおとします。東南アジアに向かうときも何もたずにあんなに小さいのに自分の力でとんでいくのです。けなげだと思いませんか？

音どくサイン↓

① なんの話でしょう？

（

② だいたいいつごろ京都にやってきましたか？

（

③ ツバメの天てきを三つあげましょう。

（

④ なぜ都会ではすづくりに苦労するのですか？

（

⑤ 泥にまぜるものは何と何ですか？

（

⑥ ツバメのたまごは何くらいですか？

（

⑦ ツバメは冬どこですぐすのですか？

（

⑧ なぜす立った後も親は見まもるのですか？

（

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（

（ ） ツバメはお弁当を持って東南アジアに行く。

（ ） ツバメは自分の力で長旅をする。

（ ） ツバメはへびの卵が大好きだ。

⑩ 上の文の感想を五行でまとめましょう。

できばえは？



みなさんの町内にもツバメがわたつてきているのではないでしょうか。今日はツバメの話です。冬はあの子たちはみんな東南アジアあたりのあたたかいところで過ごしていて、春になると日本にわたつてきて子育てをし、また秋になると南の国へ・・・というサイクルですごしているのです。

京都にはだいたい四月一日前後にやってきました。まずすることは巣を作るための場所を探すこと。人間に近い場所で、しかもヘビがのぼつて来ないような場所、そして雨や風が直接あたらないところを探します。

そんな場所が見つければ、泥に唾液と草をまぜて巣づくりをします。郊外の田んぼではすぐ泥が見つかりますが、都会の真ん中だと彼らも苦労するようです。

巣が完成すれば、子育て。だいたい四個から六個の卵をうんで、すっかりあたためます。二週間ほどでひながかえり、ひなは二十日ほどで巣立ちをします。この間ツバメのお父さんとお母さんはたいへんです。虫をとらえてどんどん巣にはこぼないといけません。巣立った後も二週間ほど両親はずっと見守ります。まだまだひなは自分ではえさをとれないからです。ということ、ひなが卵からかえってから約一か月ちょっとくらいは子育てが続くわけです。

でも、もう一度子育てをするパターンも多いです。その際は違う巣で産卵することも多いのです。

ヘビ以外にもネコやカラスなど天敵がいて、かなりのひなは命を落とします。東南アジアに向かうときも、何も持たずにあんなに小さいのに自分の力で飛んでいくのです。けなげだと思いませんか？

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

（

② 上のあたたかい、を漢字で書きましょう。

（

③ ツバメの天敵を三種あげましょう。

（

④ なぜ都会では巣づくりに苦労するのですか？

（

⑤ 泥にまぜるものは何と何ですか？

（

⑥ ツバメのたまごは何個くらいですか？

（

⑦ ツバメは冬どこですごすのですか？

（

⑧ なぜ巣立った後も親は見守るのですか？

（

⑨ あっているものに○をつけましょう。

（ ） ツバメはお弁当を持って東南アジアに行く。

（ ） ツバメは自分の力で長旅をする。

（ ） ツバメはヘビの卵が大好きだ。

⑩ 上の文の感想を五行でまとめましょう。

---



---



---



---



---

できればは？

